

テーマ 地域創生を志す高校生育成のための「地域課題解決型学習」と「商業教育」

目標

1. 高校生の視点で地域課題を発見し、自治体や地元事業所、専門家等の助言を受けながら課題解決型学習に取り組み、地域課題の解決策を発信する。
2. 商業科目における商品開発や模擬会社による販売実習を通して、ビジネスを学びながら起業家精神を育み、地域活性化に貢献する。
3. これらの取組を通して、郷土愛を育むとともに将来の地域活性化を担う人材へと成長させる。これにより、若年層の地域定着と将来のUターンに繋げる。

**育成したい
資質・能力**

ふるさとへの愛着と誇り
自己肯定感

情報収集力、思考力、判断力、
表現力、コミュニケーション能力

学びに向かう
主体性・協働性

地域の未来を担う志
リーダーシップ

長崎県立中五島高等学校（普通科、生徒数58名）

- なかこう学校運営協議会 会長ほか委員
- LHR・総探委員会 [委員長]校長、[副委員長]教頭

<主な取組>

- ①職業人インタビュー（1年）
島内で働く様々な職業の方に直接インタビューを行う。
- ②島内インターンシップ（1年）
地元の事業所で職業体験を行う。
- ③島内で働くことを考える会（1・2年）
島内の事業所や島内で活躍している方の考えを知る。
- ④パブリックワーク（1年3学期～2年）
よりよい町づくりのための社会的課題を高校生の視点で考え、その解決方法を探究し、その解決方法を地域に向けて提案・発信する。
- ⑤商品開発、模擬会社の設立・運営、地域販売実習（ビジネスキャリア2年～3年）
模擬会社を設立して地元に関係する商品を開発し、全国から仕入れた特産品などとあわせて地域販売実習を行う。販売実習で得た利益を用いて、地域貢献を行う。
- ⑥地域貢献活動（3年）
今までの取り組みを踏まえ、地域のために高校生としてできることを考え実践する。
- ⑦域生デー（1・2・3年）
学校運営協議会やPTAの方々や地域について考え、異年齢集団による意見交換を行う。
- ⑧地域活性化デー（1・2・3年）
新上五島町内の特産品の生産拠点を訪問し、製作体験を通してふるさとに対する理解を深める。

- 成果指標**
- | | |
|--------------------------------------|----------|
| (1) 将来、何らかの形で故郷に貢献したいという意識が高まった生徒の割合 | 85% |
| (2) 生徒の島内を含む県内への就職 | 65%以上を維持 |
| (3) 目標に向かって挑戦する力が向上した生徒の割合 | 85% |
| (4) 生徒の資質・能力の育成に資するよう授業改善を行った教員の割合 | 85% |

外部連携機関
(行政機関・事業所)

- 新上五島町教育委員会
- 新上五島町役場各課
- 新上五島町社会福祉協議会
- 新上五島町商工会
- 地元小・中学校・幼稚園
- 地元社会福祉施設
- 地元企業・事業所
- 県内大学・研究機関等

連携

協働

地域社会（保護者を含む住民、産業、文化、歴史等）